



平成 28 年 1 月 27 日

各 位

会 社 名 K I ホールディングス株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 掛川 隆
 (コード番号 6747 東証第 2 部)
 問 合 せ 先 取締役 若林 秀和
 (TEL 045-826-6711)
 当社の親会社 株式会社 小糸製作所
 代 表 者 名 取締役社長 三原 弘志
 (コード番号 7276 東証第 1 部)

平成 28 年 9 月期 第 2 四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 10 月 28 日に開示いたしました平成 28 年 9 月期 第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想について、下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 9 月期 第 2 四半期累計期間(平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日) 予想数値の修正

(1) 修正の内容

－ 1. 連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 33,400	百万円 4,700	百万円 4,500	百万円 3,000	円 銭 72.38
今回修正予想(B)	31,200	4,000	4,000	3,500	84.45
増減額(B-A)	△2,200	△700	△500	500	12.07
増減率(%)	△6.6	△14.9	△11.1	16.7	—
(ご参考) 前期実績	30,578	4,489	4,429	△1,093	△26.37

－ 2 個別業績

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 200	百万円 △400	百万円 100	百万円 800	円 銭 19.30
今回修正予想(B)	200	△400	300	1,800	43.43
増減額(B-A)	—	—	200	1,000	24.13
増減率(%)	—	—	200.0	125.0	—
(ご参考) 前期実績	158	△420	659	△2,772	△66.89

(2) 修正の理由

一連結：売上高につきましては、国内公共事業向け及び中国高速鉄道向けの売上減少に伴い、前回発表予想に対し減収となる見通しであります。これを受けて営業利益につきましても減益となる見通しであります。経常利益につきましては、航空事業安全対策費が減少したものの、営業利益の減少により、前回発表予想に対し減益となる見通しであります。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、平成 27 年 11 月 13 日付「和解による訴訟の解決及び特別利益の発生に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、当社の訴訟和解に伴い損害賠償引当金戻入額 1,068 百万円を特別利益に計上したことにより、前回発表予想に対し増益となる見通しであります。

—個別：経常利益につきましては、受取配当金の増加及び航空事業安全対策費の減少等により、前回発表予想に対して増益となる見通しであります。四半期純利益につきましては、訴訟和解に伴い損害賠償引当金戻入額 1,068 百万円を特別利益に計上したことにより、前回発表予想に対し増益となる見通しであります。

2. 平成 28 年 9 月期 通期(平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日) 予想数値の修正

(1) 修正の内容

— 1. 連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 54,700	百万円 6,000	百万円 5,700	百万円 3,300	円 銭 79.62
今回修正予想(B)	54,700	5,900	5,700	4,100	98.93
増減額(B-A)	—	△100	—	800	19.31
増減率(%)	—	△1.7	—	24.2	—
(ご参考) 前期実績	52,674	5,434	4,901	△10,883	△262.58

— 2 個別業績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 300	百万円 △900	百万円 1,900	百万円 2,600	円 銭 62.73
今回修正予想(B)	300	△900	2,200	3,700	89.28
増減額(B-A)	—	—	300	1,100	26.55
増減率(%)	—	—	15.8	42.3	—
(ご参考) 前期実績	488	△855	2,492	△10,661	△257.22

(2) 修正の理由

—連結：親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当社の訴訟和解に伴い損害賠償引当金戻入額 1,068 百万円を特別利益に計上したことにより、前回発表予想に対し増益となる見通しであります。

—個別：経常利益につきましては、受取配当金の増加及び航空事業安全対策費の減少等により、前回発表予想に対して増益となる見通しであります。当期純利益につきましては、訴訟の和解に伴い損害賠償引当金戻入額 1,068 百万円を特別利益に計上したことにより、前回発表予想に対し増益となる見通しであります。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上